

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成17、18年度採択)

中間評価結果(公表用)

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	道路の整備・維持管理費用、環境費用を考慮した受益者負担の仕組みに関する研究	一橋大学大学院 教授 根本 敏則	B

<研究継続の妥当性評価>

- ・ 対距離課金施策のさらなる展開のため、実際の政策立案への適用性を考慮しつつ、指摘事項に留意しながら、計画通り研究を継続することが妥当である。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 研究項目のうち「制度の比較分析」については、欧州の対距離課金の政策動向やその背後の考え方・社会的意義等についてサーベイを実施し、政策研究として2年目で成果を取りまとめて頂きたい。
2. 道路のネットワークとしての特性や外部経済・不経済も考慮したフレームワークを構築して頂きたい。
3. 維持管理費用は道路のアセットマネジメントの観点から重要であるため、道路の迂回路としての損害の軽減や渋滞等の効果を幅広く取り入れつつ、道路のメンテナンスの状態と維持管理費用との関係等について十分研究して頂きたい。
4. 道路整備のシミュレーション分析に適用する料金弾力性については、既存の社会実験データを活用し感度分析を行うことが望ましい。このため、料金弾力性に関するアンケート調査の必要性は低いと思われるので、実施の可否について再考頂きたい。